

# ひなどり

園だより 3月号  
令和5年 3月 1日  
新潟市立新津第三幼稚園

## 「春が待ち遠しいですね」

園長 川合 千尋

幼稚園では、2月3日の節分の行事を終え、今は遊戯室におひな様が飾られています。だんだんと春が近付いている気持ちになります。

節分と言えば24節気の1つですね。今月は啓蟄（けいちつ）という、24節気があります。「啓」は「開く」，「蟄」は「虫などが土中に隠れ閉じこもる」意味で、「啓蟄」で「冬籠りの虫が這い出る」（広辞苑）という意を示します。今年3月6日です。また、24節気の春分は、よく昼の長さや夜の長さがほぼ等しくなるとされますが、実際には昼の方が14分ほど長いそうです。今年3月21日です。

気温が暖かくなると、子どもたちも、体のいろいろなところが動きやすくなります。寒さで少し縮こまっていた体もより解放され、元気いっぱい動き出します。園でも、子どもたちの動きがますます活発になってきました。暖かさが子どもたちの体のスイッチを押してくれたのでしょう。

年度の変わり目というのも、子どもたちにとって大きなスイッチの1つになります。令和4年度から令和5年度になる来月4月には、たんぼぼ組（年少）からもも組（年中）へ、もも組（年中）からあやめ組（年長）へ、あやめ組（年長）から小学校1年生へと変わるというスイッチはとても大きな力を与えてくれます。きっとそれは、周りの大人の期待が高まりを感じ取り、子どもたち自身の意識が高まることによって倍増するような気がします。

雪をかき分け、寒さの中で一番先に芽吹いてくる草花は、小さくともとても力強いエネルギーを感じます。寒さを乗り越え待ちわびた春に動き出す虫たちにもたくましいエネルギーを感じます。そして、第三幼稚園の子どもたちも元気いっぱい、毎日がんばっています。来月4月になって、少しずつお兄さん、お姉さんになる子どもたちが今から楽しみです。

